

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(鍼灸師科)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	基礎演習	30					
講義	コミュニケーションスキルⅠ	30	○	30			
講義	コミュニケーションスキルⅡ	30	○	30			
講義	保健体育Ⅰ	60					
講義	保健体育Ⅱ	30					放送大学
講義	栄養学	30					放送大学
講義	解剖学Ⅰ	60					
講義	解剖学Ⅱ	60					
講義	生理学Ⅰ	90					
講義	衛生学・公衆衛生学	60					
講義	医療概論	30					
講義	生理学Ⅱ	30					
講義	解剖生理学	30					
講義	運動学	30	○	30	☆	30	
講義	病理学概論	60					
講義	臨床医学総論	60	○	60	☆	60	
講義	臨床医学各論Ⅰ	60	○	60			
講義	保健の仕組みと職業倫理	15	○	15			
講義	リハビリテーション医学Ⅰ	30	○	30			
講義	解剖学Ⅲ	30					
講義	生理学Ⅲ	30					
講義	臨床医学各論Ⅱ	60	○	60			
講義	リハビリテーション医学Ⅱ	30	○	30			
講義	関係法規	30					
講義	経路経穴概論Ⅰ	60	○	60			
講義	東洋医学概論Ⅰ	90	○	90	☆	90	
講義	基礎はり学・基礎きゅう学	30	○	30			
講義/演習	触察解剖Ⅰ	30	○	30			
講義	社会あはき学Ⅰ	30	○	30			
実技	基礎はり実技	60	○	60	☆	60	
実技	基礎きゅう実技	60	○	60			
講義/演習	総合基礎	30					
講義	経路経穴概論Ⅱ	30					

講義	東洋医学概論Ⅱ	30	○	30		
講義/実習	触察解剖Ⅱ	30	○	30		
講義	社会あはき学Ⅱ	30	○	30		
実技	応用はり実技	60	○	60		
実技	応用はりきゅう実技	60	○	60		
実技	認定実技(OSCE)Ⅰ	30	○	30		
実習	臨床実習Ⅰ	90				
講義/演習	総合スポーツ演習Ⅰ	60				
講義/演習	総合学習	60				
講義	はりきゅう治効理論	30	○	30		
講義	東洋医学臨床論Ⅰ	60	○	60		
講義	病態生理学	30	○	30		
講義	東洋医学特論	30				
講義	東洋医学臨床論Ⅱ	60	○	60		
講義/実習	東洋医学臨床実践	60	○	60		
講義/実習	古典・経絡治療学	30	○	30	★	30
講義	はきの適応診断学	30				
実技	臨床はりきゅう実技	60	○	60		
実技	スポーツ鍼灸	60	○	60		
実技	認定実技(OSCE)Ⅱ	30	○	30		
実習	臨床実習Ⅱ	90				
講義/演習	総合スポーツ演習Ⅱ	30				
講義/演習	卒業演習	30				
講義/実習	特殊鍼灸療法学	30	○	30		
実技	実践はりきゅう実技	30	○	30		
講義/演習	総合基礎特講	60				
講義/演習	総合臨床特講	30				
総授業時数		2,655		1,425		270
卒業に必要な授業時数		2,655				